

# 速報 れんごう札幌

連合北海道札幌地区連合会

2013年12月21日発 第62号発行責任者 平野博宣 Tel011-210-0505 Fax011-210-0606

## 月例賃金にこだわる！

### 12/20第55回連合北海道地方委員会で2014春闘方針確認



連合北海道は12月20日、札幌市内のホテルで第55回地方委員会を開催し2014年春季生活闘争の方針を確認しました。工藤和男会長は冒頭、「すべての組合が月例賃金の引き上げにこだわる」取り組みを強力に推し進めるとし、4%のり賃上げ方針を提起しました。また労働法制の規制間には断固反対するとし、ワーキングプア対策については全労働者の処遇改善の中心的取組みであるとし、「これまで以上に力を入れて取り組んでいく」としました。更に、ワーキングプアという状況は政策の誤りにより生じたもので、格差の拡大や貧困を放置すれば、社会は益々不安定となり地域の生活も劣化が進むとしました。提案された方針は満場一致で承認されました。

全単組から多くの参加を！

## 2014春闘石狩地域討論集会 1月24日・25日

### 賃金実態調査への参加で賃金交渉の前進を！

私たち石狩地域の今春闘の方針は来年1月24日・25日に「ホテルポールスター札幌」で開催する2014石狩地域討論集会で議論します。直近の経済指標の各数値が改善傾向にあるのは報道等の通りです。この「成果」は安部政権の一時的な思い付き「政策」によるものではなく、職場の労働者が賃下げ・定員削減に耐えながら必死に職務を全うしたことによるものです。今、私たちはその「適正報酬」を賃金として請求すべきです。私たちは、労働者へのこれ以上の負担増・我慢強制は将来に及ぶ禍根を残すと断言します。今は、「適正」ということに頑固に拘りつづけることが必要と感じます。地場賃金要求を円滑に進めるための資料「2013年度賃金・労働条件実態調査」を行っています。ご協力をお願いします。

